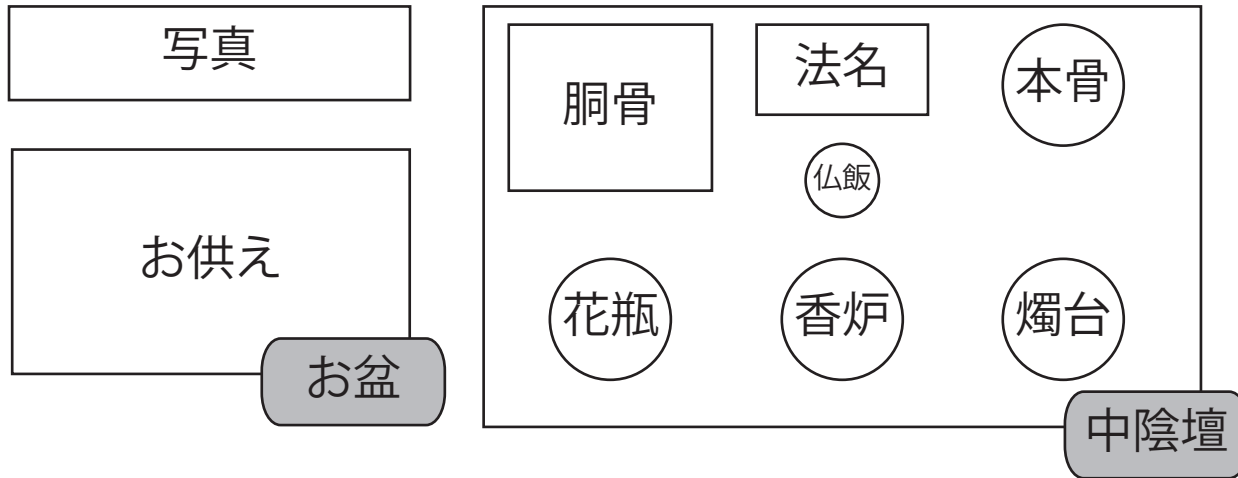


中陰壇のお荘厳の仕方（参考例）

仏壇（お内仏）



*中陰壇は、お仏壇の横（左右）または正面に設置してください。

*葬儀社が用意される仏具は他宗派のものも含まれています。浄土真宗の荘厳では使用しないものがあります。

（例・使用しないもの／お茶・お水・巻線香・灯籠等）

*中陰壇の花は桜・青葉が原則ですが、色花を使用する場合は白・黄色の菊の花を用いてください。

*仏壇の花も中陰中は原則中陰壇と同じです。

*蠟燭・線香は、拝礼・勤行の時に燃じてください。特に火の元になりますので、その場を離れる時は消灯してください。

*灯明（蠟燭）をつけ続ける場合は、電気の灯明を代用してください。線香はつけ続ける必要はありません。

*お供え物がある場合はお盆等にて中陰壇の横に置いてください。

*写真は中陰壇の横に置いてください。

*仏壇には白の打敷をかけてください。（白の打敷が無い場合は、裏返して使用してください。）

*仏飯は仏壇と中陰壇両方にお供えしてください。

*中陰中の七日参りの際、焼香をしますので、別に香炉・お香・香炭をご用意ください。

*参考例ですので、詳細・お問合せはお寺へご相談ください。



打敷